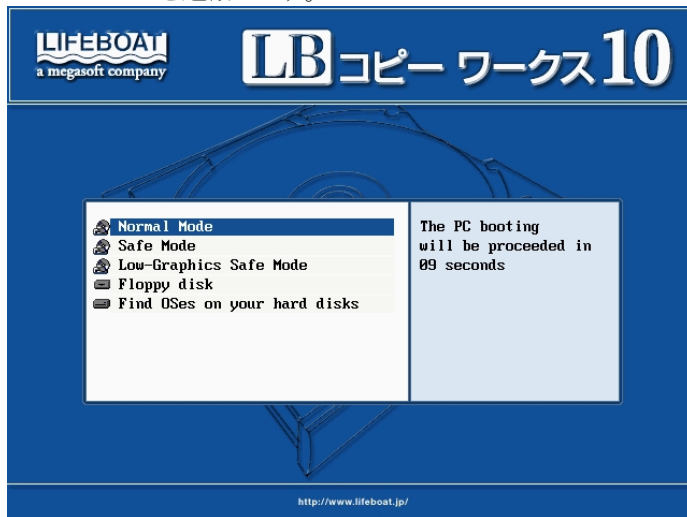


Linux/Dos 版 起動 CD の使用方法について

この資料では、LB コピー ワークスの Linux/Dos 版起動 CD の使用方法についてご紹介します。

1-1 起動 CD からの起動方法

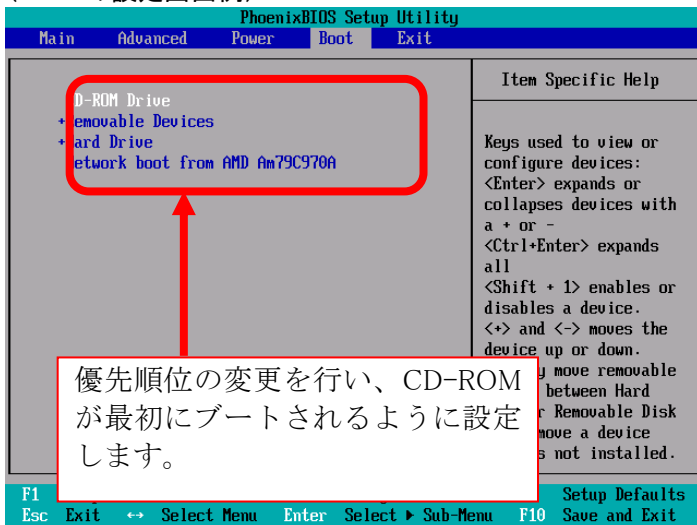
起動 CD をドライブにセットして PC を再起動(起動)します。CD からブートされ、『LB コピー ワークス 10』のメインメニューが表示されます。この画面が表示されずに OS が起動してしまう場合には、BIOS の設定を確認してください。この画面が表示されたら、<Enter>キーを押して、Normal mode を起動します。



※ USB 機器が接続されていると、CD 起動できない場合があります。CD 起動できない場合には、接続されている USB 機器を取り外してお試しください。

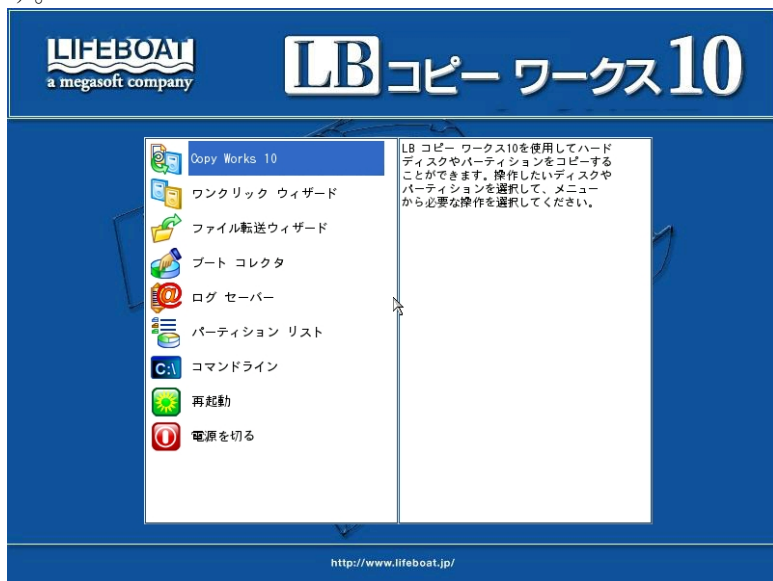
- ※ ご使用のシステムが CD-ROM ドライブからの起動をサポートしている場合でも、BIOS 設定の内容によっては、CD-ROM から起動できない場合があります。ご使用のシステムのマニュアルを参照して、最初の起動デバイスが CD-ROM ドライブになるように BIOS 設定してください。(設定例は次ページをご参照ください)

(BIOS の設定画面例)



- ※ あくまで一例です。ご使用の PC によって画面、起動方法、操作方法が異なります。BIOS 設定の方法についてはご使用の PC のマニュアルを確認するか、PC のメーカーにお問合せください。

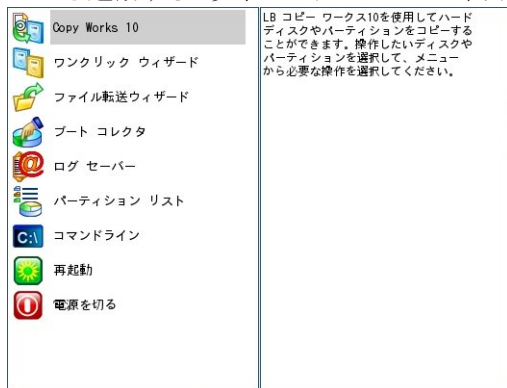
最終的に以下の『LB コピー ワークス』のメインメニューが表示されます。



※ ご利用のハードウェアによっては、この CD から起動できない、接続されているハードディスクが認識されない場合があります。その場合は、最初に表示される画面で、『Safe Mode』や『Low-Graphics Safe Mode』を選択してお試してください。『Safe Mode』、『Low-Graphics Safe Mode』では USB 接続のハードディスクが認識されません。

1-2 起動 CD の機能について

起動 CD から起動すると以下のメインメニューが表示されます。



メニューをダブルクリック、もしくはカーソルを<↓><↑>キーで移動して<Enter>キーを押すと、以下のツールを使用することができます。

(1) LB Copy Works 10

マニュアル操作でコピーを行うことができます。コピー以外にも、パーティションの作成、削除、フォーマットなど、基本的なディスク管理ツールも使用できます。

(2) ワンクリック ウィザード

Windows 上のワンクリック ウィザードと同様の機能を提供します。

(3) ファイル転送ウィザード

ファイル転送ウィザードを使用すると、ファイルやフォルダを別のディスクやパーティションやフォルダにコピーできます。

(4) ブート コレクタ

OS 起動時の問題を修復することができます。起動後に問題が発生した場合に利用します。詳細については製品に同梱されている補足説明書をご参照ください。

(5) ログ セーバー

ログを取得することができます。問題が発生した場合には、問題の報告と一緒に取得したログをサポートセンターまでお送りください。

(6) パーティション リスト

PC に接続されているハードディスク、パーティションの一覧を参照できます。

(7) コマンド ライン

Linux のコマンドプロンプトが表示されます。

(8) 再起動

PC を再起動します。

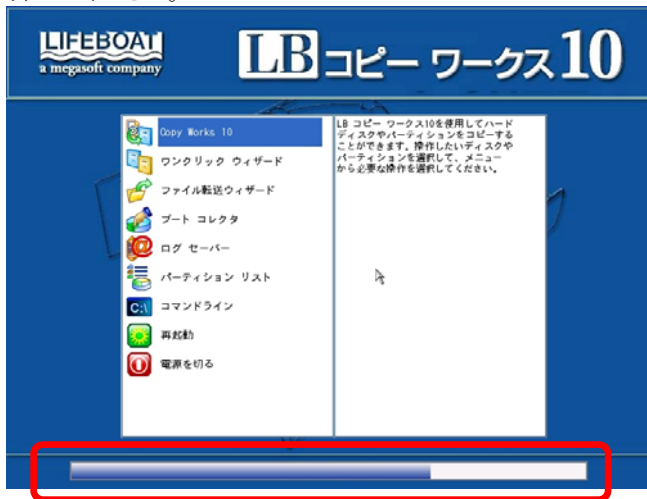
(9) 電源を切る

PC の電源を切ります。

1-3 コピー前の確認事項

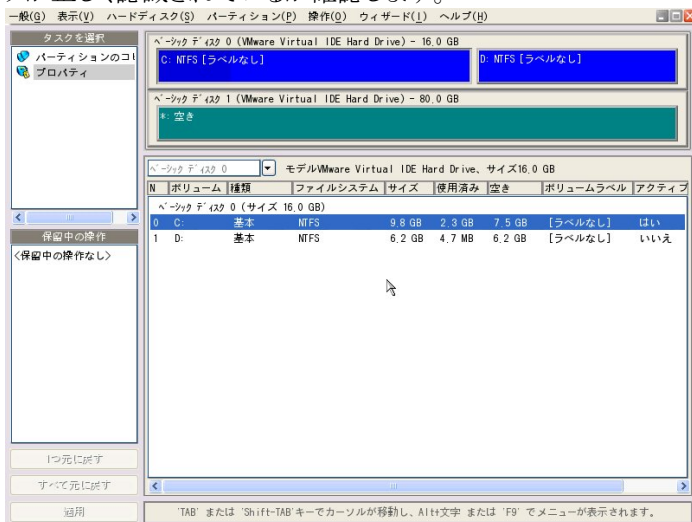
製品に同梱されている利用ガイドの『第3章 コピー操作を行う前に』を参照してください。この CD から起動してコピーする場合には、さらに以下の手順でコピー元、コピー先のハードディスクの確認を行ってください。

- (1) LB コピー ワークスの CD をドライブに挿入し、PC を再起動します。CD から起動してメニューが表示されるので[Copy Works]をマウスでダブルクリックするか、〈↑〉〈↓〉キーで選択して〈Enter〉キーを押してください。



※ プログレス バーが消えてから操作を開始してください。

- (2) LB コピー ワークスが起動します。接続されているハードディスク、パーティションが確認できます。コピー元、コピー先のハードディスクが正しく認識されているか確認します。



※Windows 上とドライブ文字(C:など)が一致しない場合があります。確認後は、右上の×をクリックし、メニューに戻ります。

1-4 ハードディスクをコピーする（自動コピー）

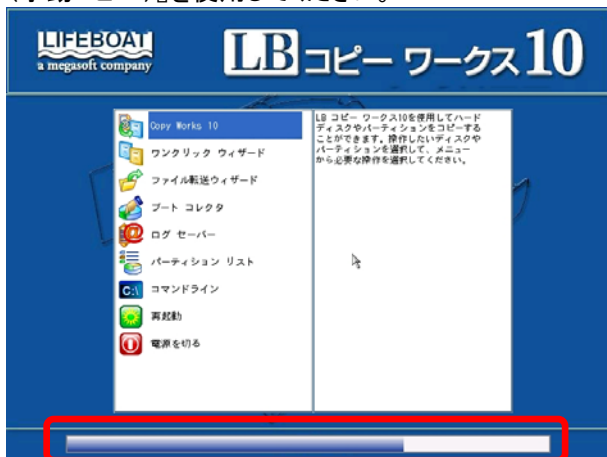
ワンクリック ウィザードを使用して、ハードディスクからハードディスクにデータを丸ごとコピーします。

※コピーする前に必ず利用ガイドの『第3章 コピー操作を行う前に』を確認してください。

- (1) CD 起動後に、メニューの[ワンクリック ウィザード]をマウスでダブルクリックするか<↑><×><↓>キーで選択して<Enter>キーを押してください。

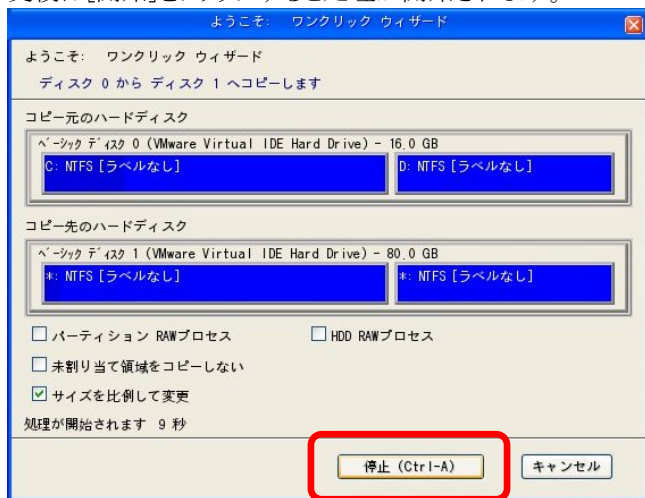
※ ボタンをクリックするとコピー結果のプレビュー画面を 10 秒表示したのち、コピーが開始されますので、ご注意ください。オプションを変更したい場合には次画面で、すぐに[停止]をクリックしてください。

※ コピー先ハードディスクが空でない場合には、ワンクリック ウィザードは実行できません。コピー先ハードディスクのパーティションをすべて削除するか、『1-5 ハードディスクをコピーする（手動コピー）』を使用してください。



※ プログレスバーが消えてから操作を開始してください。

- (2) ワンクリック ウィザードが起動します。コピー結果の画面がプレビューされ、10 秒後に自動的にコピー処理が開始されます。オプションを変更したい場合には、すぐに[停止]をクリックしてください。変更後は[開始]をクリックすると処理が開始されます。



① パーティション/HDD RAW プロセス

このオプションを有効にすると、未使用のセクタも含め、すべてのセクタをコピーします。より正確なコピーを作成できますが、コピーするデータ量が増加するので、処理に時間がかかります。

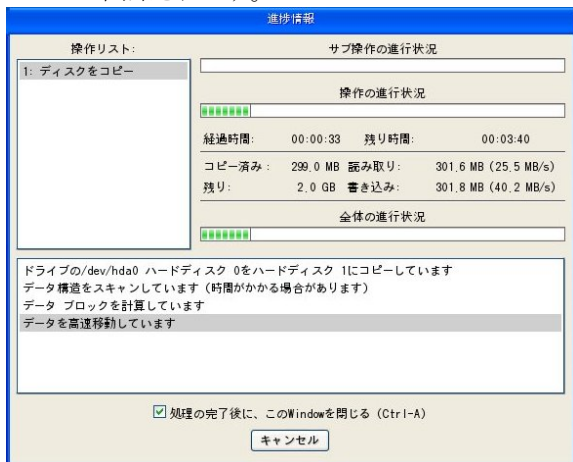
② 未割り当て領域をコピーしない

このオプションを有効にすると、コピー時にパーティション間の空き領域を削除することができます。

③ サイズを比例して変更

このオプションを有効にすると、コピー先のハードディスクのサイズに比例して、パーティションサイズが自動的に拡張/縮小します(デフォルトでオンになっています)。

(3) コピーが開始されます。



※ コピー中は、画面がフリーズしたように見える場合がありますが、コピー処理は行われていますので、コピー作業に必要と思われる十分な時間だけお待ちいただくようにしてください。

(4) コピーが完了すると、CD 起動時の最初の画面に戻ります。CD を取り出してから、[電源を切る]を選択します。

※ コピー後は、製品に同梱されている利用ガイドの『3-2 コピー後の動作確認』を参照し、コピー先のハードディスクからの起動確認を実行してください。

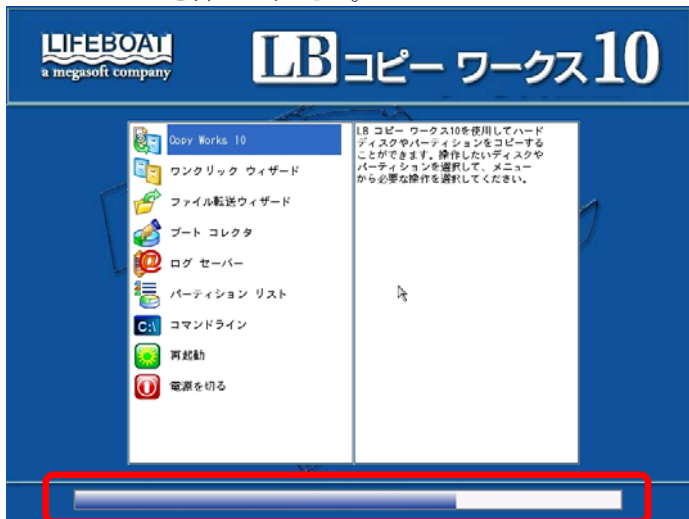
※ そのままの状態ですystemを再起動しないでください。Windows 2000/XP/Vistaを使用している場合、そのままの状態です再起動してしまうと、コピー元ハードディスクの構成情報が更新されるため、新しいハードディスクを外した状態(コピー元ハードディスクのみ接続された状態)では起動できなくなる場合があります。

1-5 ハードディスクをコピーする（手動コピー）

ハードディスクからハードディスクにマニュアル操作でコピーします。

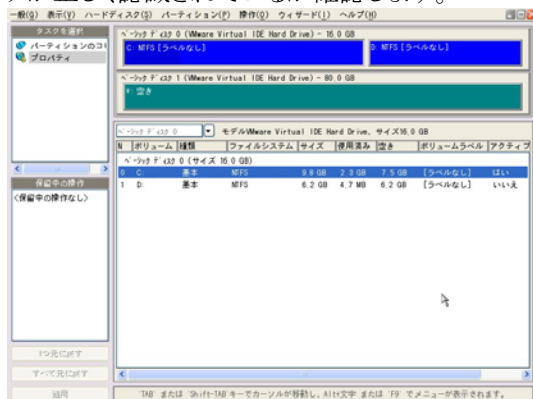
※ コピーする前に必ず利用ガイドの『第3章 コピー操作を行う前に』を確認してください。

- (1) LB コピー ワークスの CD をドライブに挿入して PC を再起動します。CD から起動されてメニューが表示されるので、[LB Copy Works 10]をマウスでダブルクリックするか、<↑><↓>キーで選択して<Enter>キーを押してください。



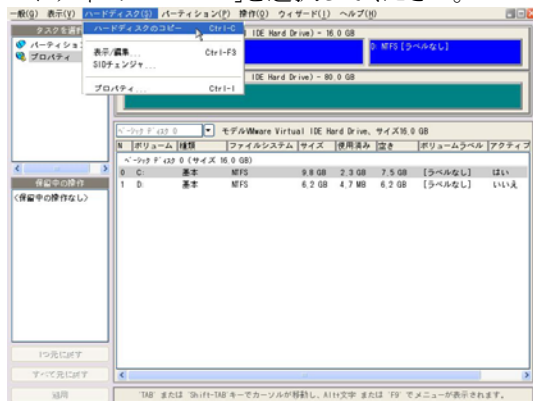
※プログレス バーが消えてから操作を開始してください。

- (2) LB コピー ワークスが起動します。接続されているハードディスク、パーティションが確認できます。コピー元、コピー先のハードディスクが正しく認識されているか確認します。

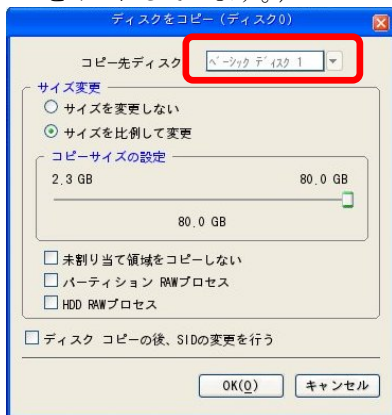


※ Windows 上とドライブ文字(C:など)が一致しない場合があります。

- (3) コピー元ハードディスクを選択し、右クリックしてメニューから[ハードディスクのコピー]を選択するか、[ハードディスク]メニューから[ハードディスクのコピー]を選択してください。



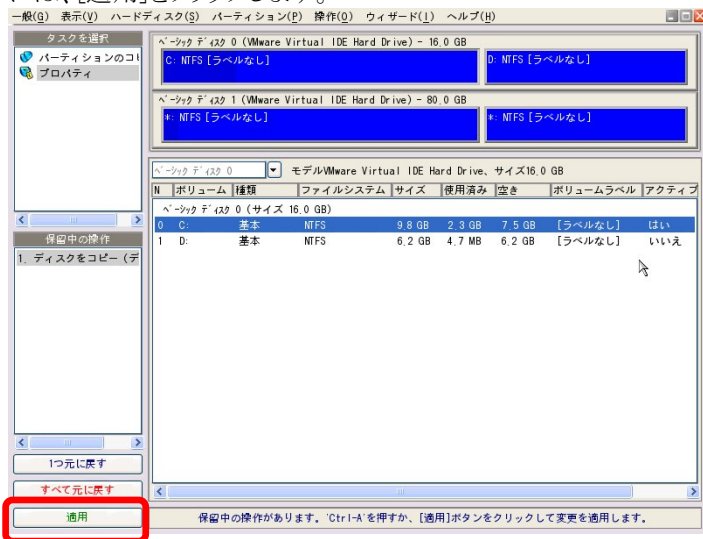
- (4) 以下のダイアログが表示されます。コピー先ハードディスクを選択します。必要であれば、サイズ変更オプションを設定して、[OK]ボタンをクリックします。(この例では、「サイズを比例して変更」オプションをオンにしています。)



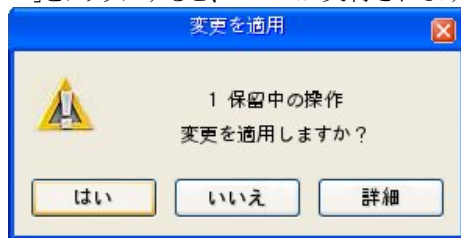
サイズ変更オプションを使用すると以下の処理を実行することができます。

- ① **サイズを変更しない**
パーティションサイズを変更せずに、コピーします。
- ② **サイズを比例して変更**
コピー先のディスクサイズに比例してパーティションを拡大、縮小します。
- ③ **未割り当て領域をコピーしない**
このオプションを有効にすると、コピー時にパーティション間の空き領域を削除することができます。
- ④ **ディスク コピーの後、SID の変更を行う**
コピー後に SID (セキュリティ識別子) を変更します。ハードディスクを入れ替える場合には、必要ありませんのでチェックしないでください。SID を変更すると、アクセス権が失われて、ファイル/フォルダにアクセスできる可能性があります。

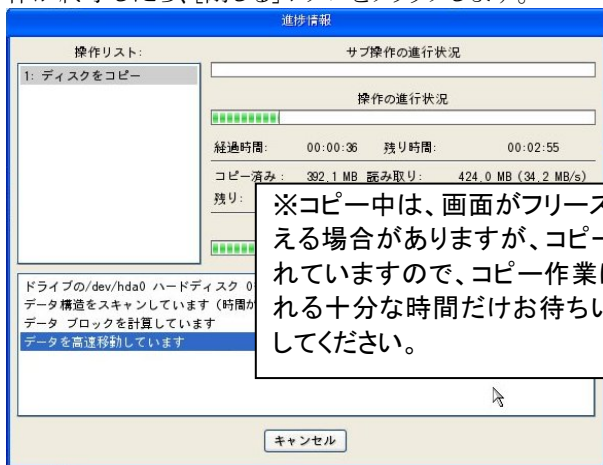
- (5) メイン画面に戻り、設定した処理が「保留中の操作」に追加され、画面に操作結果がプレビューされます。設定した処理を実行するには、[適用]をクリックします。



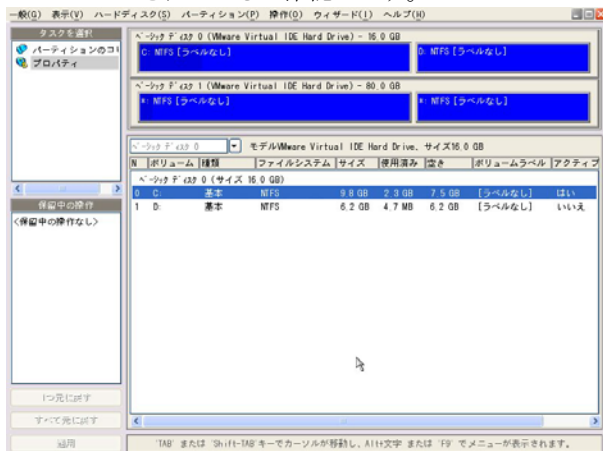
- (6) 保留中の操作を適用してよいか、確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、コピーが実行されます。



- (7) コピーが開始され、処理の進行状況が表示されます。すべての操作が終了したら、[閉じる]ボタンをクリックします。



- (8) LB コピー ワークスのメイン画面に戻ります。すべてのパーティションがコピーされているか確認します。



- (9) 以上で、コピー操作は完了です。[一般]メニューの[終了]を選択するか、右上の × をクリックして閉じます。
- (10) メインメニューが表示されるので、CD を取り出してから、[電源を切る]を選択して、PCの電源を切ります。コピー先のハードディスクから起動できるかを確認します。

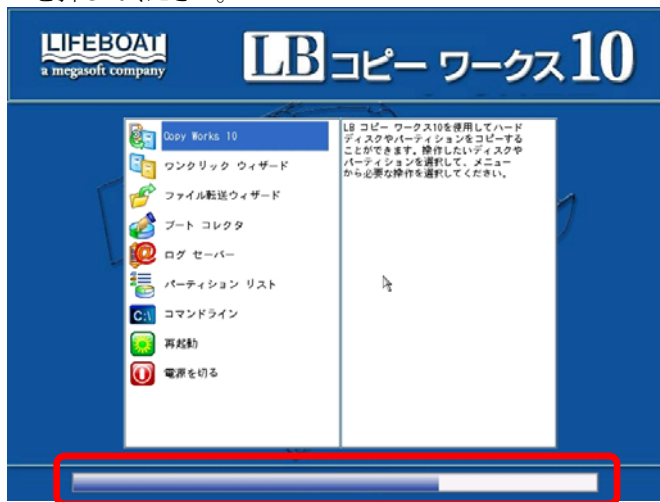
※ コピー後は、利用ガイドの『3-2 コピー後の動作確認』を参照し、コピー先のハードディスクからの起動確認を実行してください。

※ そのままの状態ですべてシステムを再起動しないでください。Windows 2000/XP/Vista を使用している場合、そのままの状態ですべて再起動してしまうと、コピー元ハードディスクの構成情報が更新されるため、新しいハードディスクを外した状態(コピー元ハードディスクのみ接続された状態)では起動できなくなる場合があります。

1-6 パーティションをコピーする

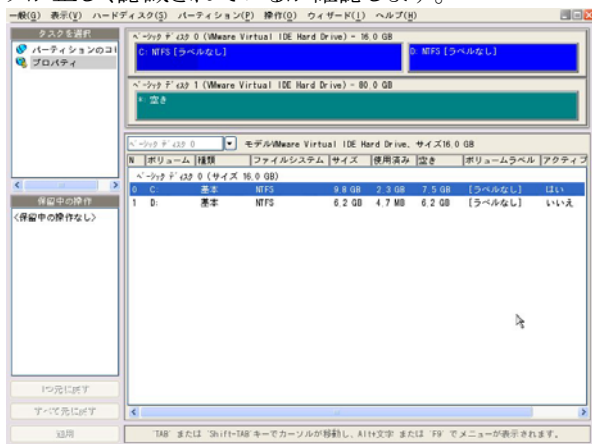
パーティションのコピー方法についてご紹介します。

- (1) LB コピー ワークスの CD をドライブに挿入し、PC を再起動します。CD から起動され、メニューが表示されるので、[Copy works 10]をマウスでダブルクリックするか、<↑><↓>キーで選択し、<Enter>キーを押してください。

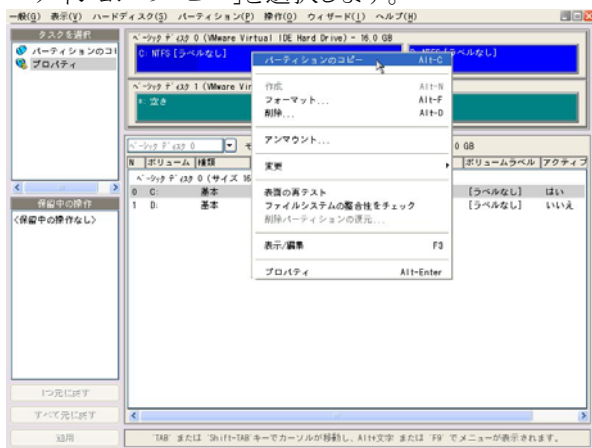


※プログレス バーが消えてから操作を開始してください。

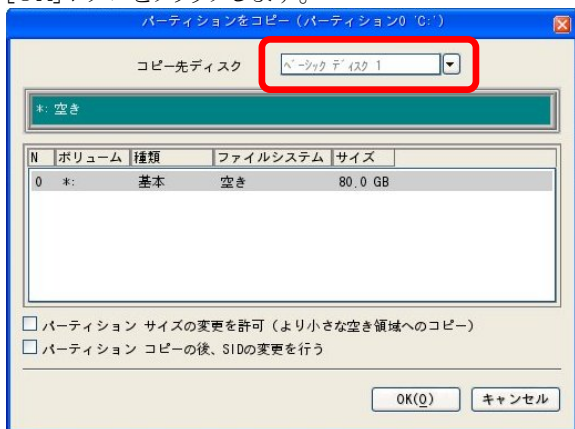
- (2) LB コピー ワークスが起動します。接続されているハードディスク、パーティションが確認できます。コピー元、コピー先のハードディスクが正しく認識されているか確認します。



- (3) コピー元のパーティションを選択し、右クリックしてメニューから[パーティションのコピー]を選択します。



- (4) 以下のダイアログが表示されます。空き領域のあるコピー先のハードディスクを選択します。必要であれば、オプションを設定して[OK]ボタンをクリックします。



※ パーティションをコピーするには空き領域(未割り当て領域)が必要です。

サイズ変更オプションを使用して以下の処理を実行することができます。

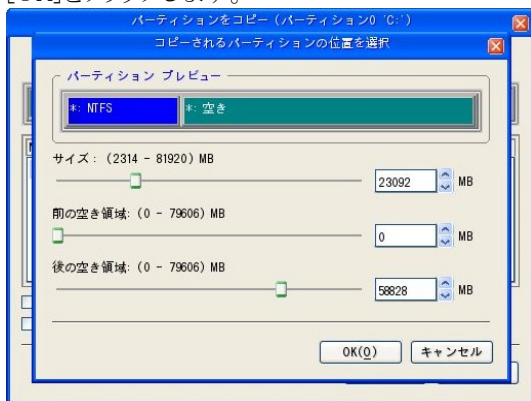
- ① **パーティション サイズの変更を許可(より小さな空き領域へのコピー)**
コピー元パーティションのサイズより小さな空き領域にコピーする場合には、チェックを入れてください。チェックを入れないとコピー先を指定できません。

※ 使用容量よりも小さな領域にコピーすることはできません。

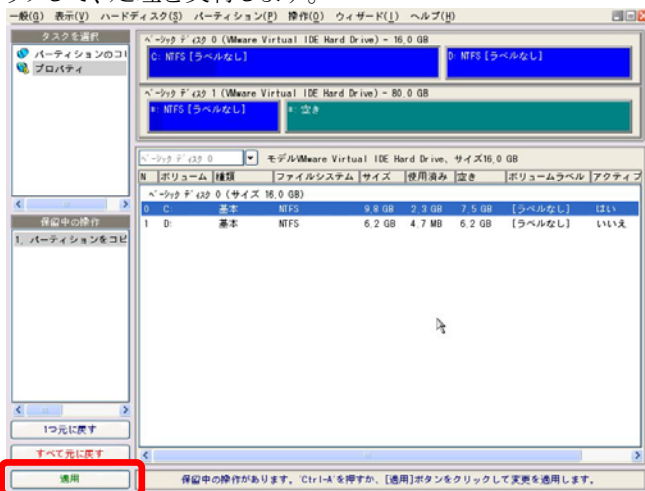
- ② **パーティション コピー後、SID の変更を行う**

コピー後に SID (セキュリティ識別子)を変更します。ハードディスクを入れ替える場合には、必要ありませんのでチェックしないでください。SID を変更すると、アクセス権が失われて、ファイル/フォルダにアクセスできる可能性があります。

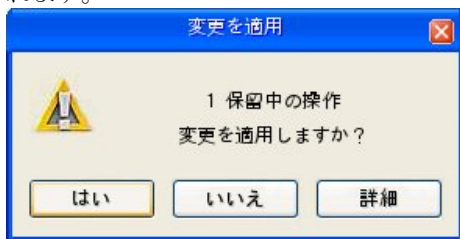
- (5) パーティションの位置、サイズを指定します。設定が完了したら、[OK]をクリックします。



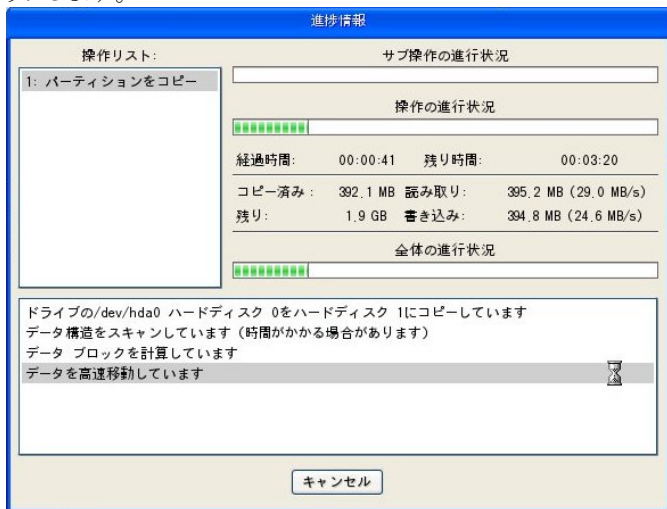
- (6) メイン画面に戻ります。コピー結果がプレビューされ、設定した処理が「保留中の操作」に追加されます。よろしければ、[適用]をクリックして、処理を実行します。



- (7) 確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、コピーが実行されます。

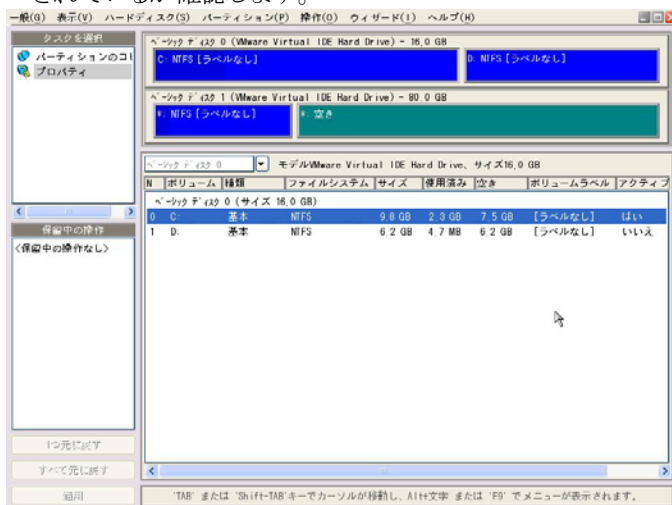


- (8) コピー処理の進行状況が表示されます。終了したら[閉じる]をクリックします。



- ※ コピー中は、画面がフリーズしたように見える場合がありますが、コピー処理は行われていますので、コピー作業に必要なと思われる十分な時間だけお待ちいただくようにしてください。

- (9) LB コピー ワークスのメイン画面に戻ります。パーティションがコピーされているか確認します。

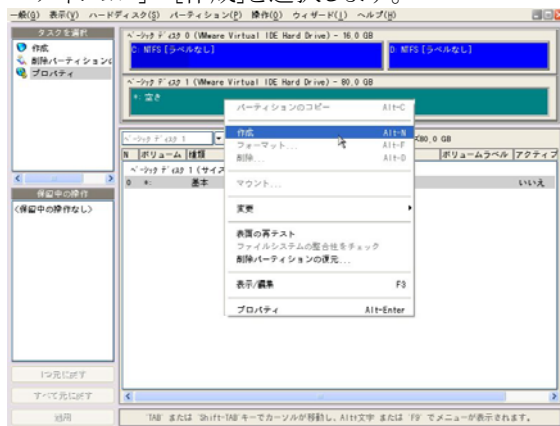


- (10) 以上で、コピー操作は完了です。[一般]メニューの[終了]を選択するか、右上の × をクリックして閉じます。
- (11) メインメニューが表示されるので、CD を取り出してから、[電源を切る]を選択して、PCの電源を切ります。

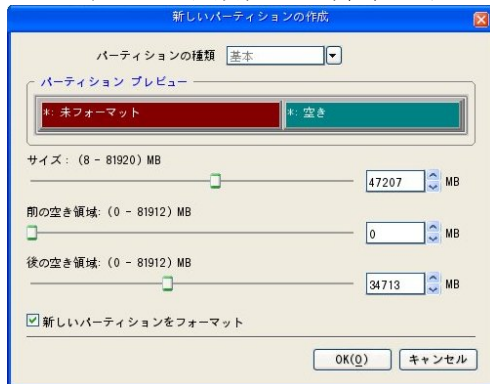
1-7 パーティションの作成

パーティションの作成方法についてご紹介します。

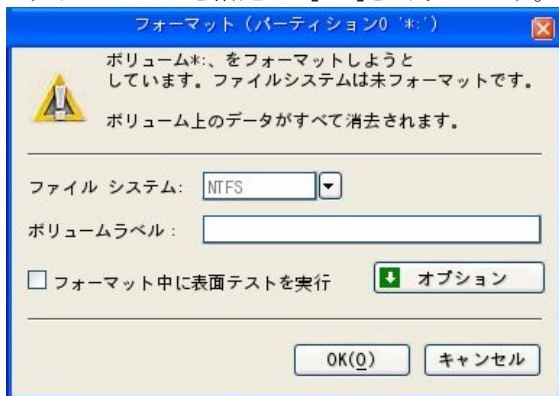
- (1) LB コピー ワークスを起動します。パーティションを作成する空き領域を選択して右クリックのメニュー、もしくはメインメニューから[パーティション]-[作成]を選択します。



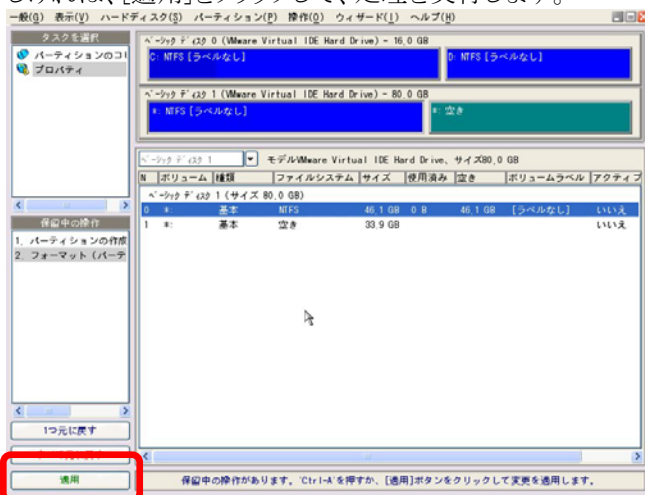
- (2) パーティションの種類、サイズ、位置を指定して[OK]をクリックします。



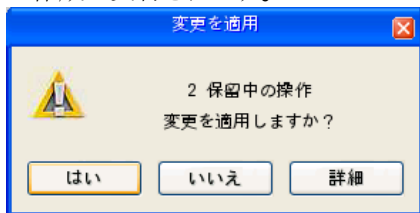
- (3) ファイルシステムを指定して[OK]をクリックします。



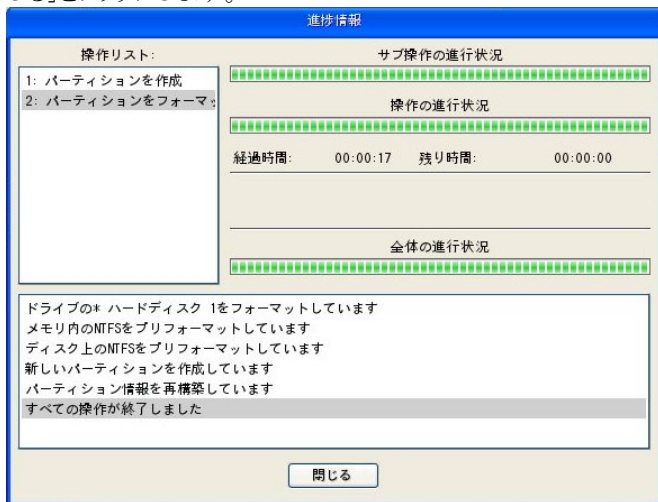
- (4) メイン画面に戻り、パーティションを作成した後の結果がプレビューされます。設定した処理が「保留中の操作」に追加されます。よろしければ、[適用]をクリックして、処理を実行します。



- (5) 確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、パーティションの作成が実行されます。



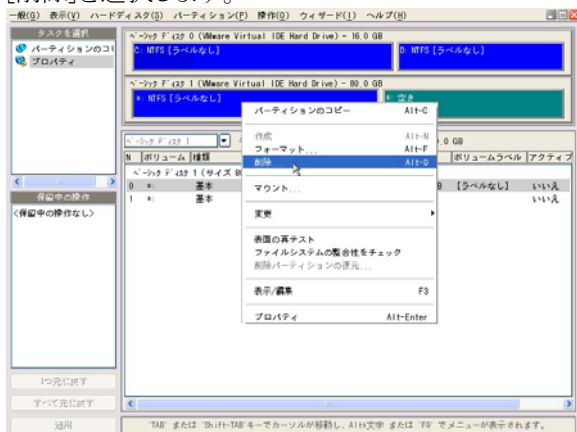
- (6) パーティションの作成処理が実行されます。操作が終了したら[閉じる]をクリックします。



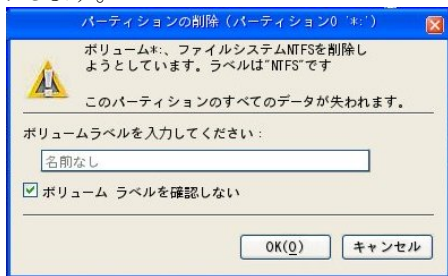
1-8 パーティションの削除

パーティションを削除すると、パーティション内のすべてのデータが削除されます。操作時には十分ご注意ください。

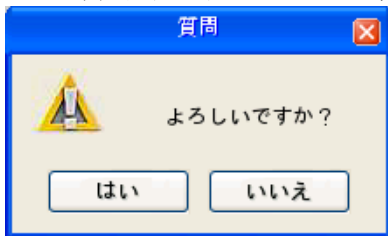
- (1) LB コピー ワークスを起動します。削除するパーティションを選択し、右クリックのメニュー、もしくはメニューから[パーティション]→[削除]を選択します。



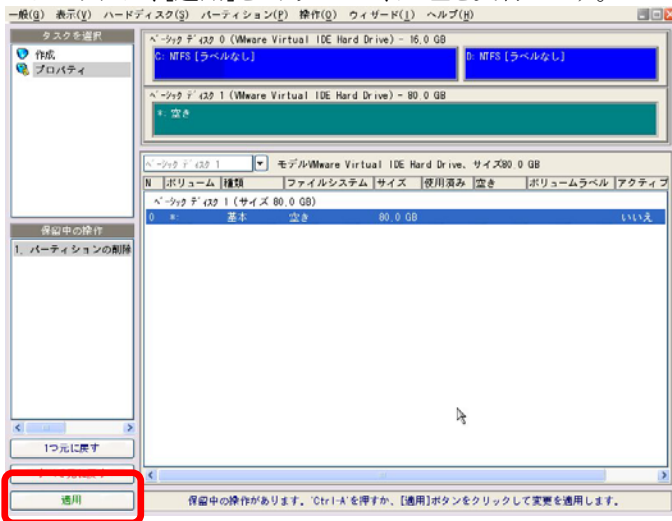
- (2) 確認画面が表示されます。ボリューム ラベルを入力するか、[ボリューム ラベルを確認しない]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。



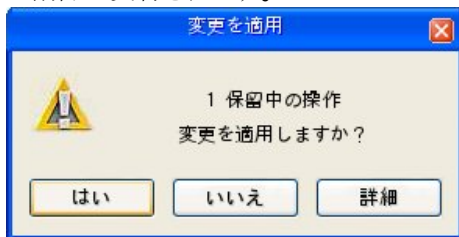
- (3) さらに確認画面が表示されるので、[はい]をクリックします。



- (4) メイン画面に戻ります。パーティションを削除した後の結果がプレビューされます。設定した処理が「保留中の操作」に追加されます。よろしければ、[適用]をクリックして、処理を実行します。



- (5) 確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、パーティションの削除が実行されます。



- (6) 削除が実行されます。操作が終了したら[閉じる]をクリックします。

